学校番号	201

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「改訂版 現代文B」（数研出版）						
副教材等	「改訂版 共通テスト対策 現代文完答22」（尚文出版） 「共通テスト対策問題集（マーク式実戦問題編）」（駿台文庫） 「三訂版 大学入試漢字TOP2000」（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・進路実現に向けて第2学年までに習得した読解力（読解技術）を意識的に活用し、問題を解く力の習得を目指す。
・大学入試問題等に頻出のシチュエーション、出題のパターン、解答するうえでの約束事などを身に付けて、これまでの学習で得た力を大学入学試験等で最大限に発揮できるようにする。
・読解においては、選択式問題を解くだけに留まらず、内容を深く理解し記述問題として解答を作成することができるようにする。
・一年間の学習を通じて、学習の到達段階を「自己把握」しながら「既習事項」の自己検証・反復学習を行い、「発展的問題演習」を行うこと。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。また、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。論理的な文章では、文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する姿勢を深める。文学的な文章では、文章を読んで、書き手の意図や、人物・情景・心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう姿勢を深める。語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、言葉による認識の可能性を広げて思考を深めて感受性を豊かにする。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 ・記述の点検 （ノート、課題演習プリント等）	行動の観察（発表等の発問に対する発言等）	記述の確認及び分析（授業ワークシート、課題演習プリント、小テスト等）	記述の確認及び分析（授業ワークシート、課題演習プリント） 定期テスト	小テスト 課題演習プリント 定期テスト 発問に対す解答評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	論理的文章の読解と理解1	評論読解① ・芸術論/「無」に思いを馳せる 評論読解② ・前近代・近代・現代 評論読解③ ・異文化理解/肝心なことは目に見えない 評論読解④ ・言語論/日本語について考える前に 副教材を用いた評論読解	○	○	◎	◎	○	a：文章を的確に読み取ろうとする。複数の情報を関連づける視点を持つ。 b：読解内容や内容説明の表現について自己評価・相互評価を行う。 c：論旨を正確に読み取り、要旨を簡潔にまとめて、矛盾がない。 d：具体的表現と抽象的表現とを読み取り、テーマを理解する。 e：わかりにくい言葉や重要語句の意味を辞書等で確認する。	a,b,c,d,e 行動の観察・記述の点検 c,d,e, 小テスト・定期考査
	文学的文章の読解と理解1	副教材を用いた小説読解 ・佐多稲子 「秋の日の影」 ・川上健一 「カナダ通り」 ・菊池寛 「無名作家の日記」	○	○	◎	◎	○	a：主観的な読み取りではなく、表現に着目する姿勢を持つ。 b：読解内容や内容説明の表現について自己評価・相互評価を行う。 c：会話や文脈から登場人物の心理を的確に把握する。 d：複数のテキスト・場面設定・人物設定から出来事の筋道を読み取る。 e：わかりにくい言葉や重要語句の意味を辞書等で確認する。	a,b,c,d,e 行動の観察・記述の点検 c,d,e, 小テスト・定期考査
二学期	論理的文章の読解と理解2	評論読解⑤ ・情報論/「情報」とは何か 評論読解⑥ ・身体論/身体論の本質とは 評論読解⑦ ・グローバリズム/グローバリズムとどう向き合うか	○	○	◎	◎	○	a：文章を的確に読み取ろうとする。複数の情報を関連づける視点を持つ。 b：読解内容や内容説明の表現について自己評価・相互評価を行う。 c：論旨を正確に読み取り、要旨を簡潔にまとめて、矛盾がない。 d：具体的表現と抽象的表現とを読み取り、テーマを理解する。 e：わかりにくい言葉や重要語句の意味を辞書等で確認する。	a,b,c,d,e 行動の観察・記述の点検 c,d,e, 小テスト・定期考査

	文学的文章の読解と理解２	副教材を用いた小説読解 ・吉原幸子 「紙」「永遠の百合」 ・光原百合 「ツバメたち」	○	○	◎	◎	○	ａ：主観的な読み取りではなく、表現に着目する姿勢を持つ。 ｂ：読解内容や内容説明の表現について自己評価・相互評価を行う。 ｃ：会話や文脈から登場人物の心理を的確に把握する。 ｄ：複数のテキスト・場面設定・人物設定から出来事の筋道を読み取る。 ｅ：わかりにくい言葉や重要語句の意味を辞書等で確認する。	a,b,c,d,e 行動の観察　・記述の点検 c,d,e, 課題小テスト・定期考査
三学期	応用的な文章の読解と理解	副教材を用いた応用的な評論・小説	○	／	○	○	○	ａ：言語を手掛かりとしながら、文章から得られた情報を多面的・多角的な視点から解釈する。 ｃ：テーマから課題を発見し発展させる。 ｄ：テキストの読解を通じて思考力・判断力・表現力を涵養する。 ｅ：応用的な語彙力を深め、言語文化の基礎の上に使いこなす語彙の数を増やす。	a,c,d,e 行動の観察　・記述の点検 c,d,e 課題小テスト等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付けている。